

## 第十回フオト句会優秀作品(7月11日)

<自由題>

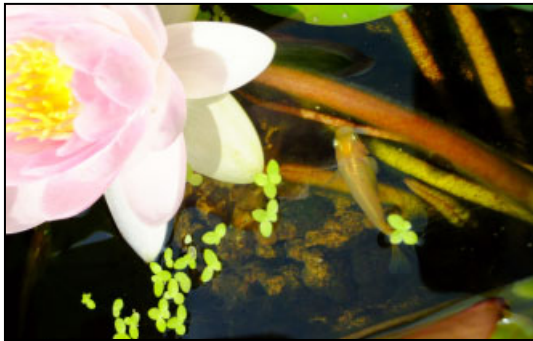


せみ時雨  
気球は昇らん  
白馬槍  
大越浩平

俯いて  
咲く時期を待つ  
野の少女  
中村 晃也



浮き沈み  
しょせん二尺の  
鉢の中  
三 春



<寸評>

大越さん：白馬槍を背景に気球が昇る爽快なシーン。バックの山々がもっとはっきりだったら。句の上五は「せみ時雨」よりも「雲の峰」とか。  
晃也さん：咲いている花を遠景にぼかし、下を向いているつぼみを野の少女として捉えています。カメラテクニックがいまいちですね。  
三春さん：画面には睡蓮の花とか浮き草とかめだかなど、具が多すぎます。妙に老成した句がついていますが、しょせん金持ちお嬢の諦観か？

<句 付 け>

7月のお題写真



目の前でオレを無視して長電話	平尾 富男
遺したい進歩に勝る温もりを	三 春
そんな眼で見つめられては告れない	中村 晃也
懐かしき声の大きなお爺ちゃん	矢澤 正二

<寸 評>

今月のお題写真は上山さん出題の、旧型の電話でした。

平尾さん：いますいます。後ろに待っている行列を気にせず  
長々と電話をする人が。電話機でさえも腹を立てて  
います。

三春さん：最近のエレクトロニクスは高機能だが情緒に欠ける。  
阿呆でもいいから心の温かい人が良い？

晃也さん：最近の若い人は告白することを告るといいます。  
たまには新しい言葉を使ってみたかった。

矢澤さん：昔の電話は大声を出さないと聞こえなかった。  
ここだけと言って内緒話を大声で電話機に話しかけ  
るお爺ちゃんの姿が懐かしい。

次回のお題写真：提供は一席の平尾富男さんにお願ひしました。